

稲作情報

(幼穂形成期～登熟期前半の管理)

令和5年度第4号

令和5年7月18日発行

福島県喜多方農業普及所、JA会津よつば、

喜多方市、北塩原村、西会津町

肥 培 管 理

- 出穂前の栄養生長期間中の高温は稲体の消耗を招き、収量や品質低下の原因となります。本来であれば、出穂期付近の追肥は食味を低下させるため避けるべきですが、出穂期の葉色の著しい低下が予想される場合は、基肥一発肥料を使用している場合でも追肥を行ってください。コシヒカリの場合、7月末頃の葉色が4.0 (SPAD502指示値32.0) よりも薄い場合は、窒素成分で1 kg/10aを出穂5日前 (8/3頃) までに施用してください。

水 管 理

1 中干し終了後～出穂前

幼穂形成始期 (出穂の3週間前頃) には水分が必要ですので、中干しを終了してください。中干し後は田面の亀裂にしみわたる程度に用水を入れて、なじませた後に間断灌水を行ってください。急に湛水すると酸素不足になり、根を傷めてしまいます。その後は間断灌水を継続して根の活性を高く維持してください。

2 出穂直前～開花期

水分補給を目的に湛水してください。基本的に浅水管理としますが、この時期に台風やフェーン現象*に遭遇すると褐変籾や不稔籾が発生しやすくなりますので、深水管理とします。

※湿った空気が山を越えて反対側に吹き下りたときに、風下側で吹く乾燥した高温の風のことを「フェーン」と言い、そのために付近の気温が上昇することを「フェーン現象」と呼びます。

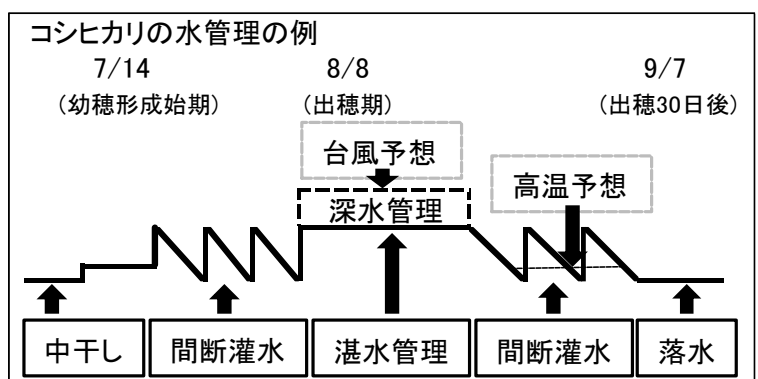
3 登熟期

間断灌水を行い、根の活力維持に努めます。開花25日後頃までは米粒が急激に肥大するため、土壌水分が不足 (田面が白く乾く) しないように注意してください。

高温が続く場合、昼間湛水一夜间落水管理や飽水管理 (ひたひた水状態) にすることで、水温や地温を下げ、根の活力維持を図り、白未熟粒の発生を抑えます。なお、用水の状況を確認しながら実施してください。

落水時期は、機械収穫時の地耐力や水利を考慮して出穂後30日を目安としてください。

- 現在のところ用水が不足している状況ではありませんが、今後、用水が不足した場合の対応について、地域や集落において事前に話し合いを進めておきましょう。



病害虫対策

1 穂いもち

- ・育苗箱施用剤の効果が低下してくる時期ですので、ほ場で葉いもちが発生していないか十分に確認しましょう。いもち病は多湿により発生しやすくなりますので、連続した降雨が予想される場合は注意してください。
- ・穂いもちの防除には、育苗箱施用剤や葉いもち防除で使用した薬剤と異なる成分の薬剤を使用してください。
- ・福島県病害虫防除所のホームページでは、いもち病の感染好適日を公表しています。



病害虫防除所の HP

穂いもち防除薬剤の例

薬剤名	使用時期	使用量	使用方法
コラトップジャンボP	出穂30日前～5日前まで	小包装(パック)10～13個 (500～650g)/10a	水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる。
コラトップ粒剤5	出穂30日前～5日前まで	3～4kg/10a	散布
フジワン粒剤	出穂10～30日前 (但し、収穫30日前まで)	3～5kg/10a	湛水散布

2 斑点米カメムシ類

(1) 除草

- ・草刈りは、出穂の10日前までに実施しましょう。これより草刈りが遅れると、カメムシ類を水田内に追い込むことになり、かえって被害を助長させることとなります。

(2) 薬剤防除

- ・薬剤防除は下表を参考に実施して下さい。地域単位での一斉防除が効果的です。
- ・水面施用剤(粒剤)による防除は、穂揃期～乳熟期(出穂期の5～10日後)に湛水状態で散布し、7日間止水します。その後も多発が予想される場合は、散布剤で追加防除します。
- ・散布剤(粉剤・液剤)による防除は、乳熟期(出穂期の7～10日後)を基本とし、その後も発生が予想される場合は7日おきに追加防除を行います。

斑点米カメムシ類防除薬剤の例

薬剤名	使用時期	使用量	使用方法
スタークル粒剤	収穫7日前まで	3kg/10a	散布
スタークル粉剤DL	収穫7日前まで	3kg/10a	散布
スタークル液剤10	収穫7日前まで	140～150L/10a (希釈倍数1,000倍) 0.8L/10a (希釈倍率8倍)	散布 無人航空機による散布
キラップ粉剤DL	収穫14日前まで	3～4kg/10a	散布

農産物を出荷する前には、放射性物質モニタリング
検査結果をご確認ください！

「ふくしま新発売」のホームページにモニタリング情
報が掲載されています。



★本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせ、相談はこちらへどうぞ

会津農林事務所喜多方農業普及所 TEL 0241-24-5745

J A会津よつば 喜多方営農経済センター営農振興課 TEL 0241-21-1801